

「健康」応援都市  
健康は未来への備え

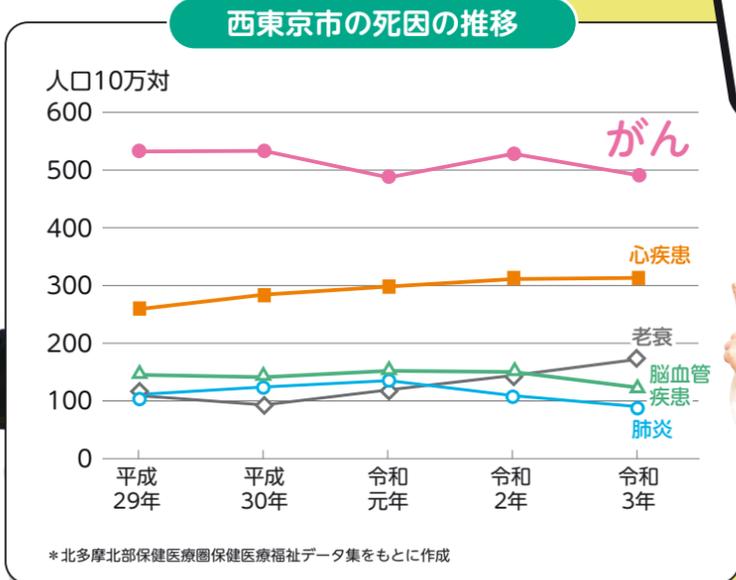
# がん検診で命を守ろう

日本人の2人に1人がかかる可能性がある「がん」  
がんは生活習慣に深くかかわる病気で、定期的な検診と生活習慣の見直しにより、  
発症リスクを大幅に減らすことができます。健康診査と併せて  
特定の病気を発見する「がん検診」を定期的に受けましょう。

問 健康課 保 電 042-438-4037

## 西東京市では 死因の 約3割ががん

令和3年の西東京市の死亡数は1,863人。そのうち491人が、がんで亡くなっています。がんは、早期のうちにはほとんど自覚症状がありません。健康だから大丈夫と考え発見が遅れることが多いため、早期発見にはがん検診が有効です。



早期発見・早期治療のために、家族や知人で声をかけあい、定期的検診を！

必ず検診  
申込が  
必要です!

## 令和6年度から対象となった 「胃内視鏡検査」を受けてみた!

胃内視鏡検査(胃カメラ)は、胃の中をじかに観察するので、胃の形状・凹凸・色を視覚的に見ることができます。自費ではバリウム検査と比べると検査費用がやや高価。「胃カメラはつらい!」という固定観念がある方も。今回は胃内視鏡検査を、市の検診と同じ内容で、PR親善大使・完熟フレッシュ 池田57CRAZY (いけだゴナクレイジー)さんに体験していただきました。

まずは受診券を見ながら予約しよう！  
忘れないように封筒に予約日をメモ！



1 胃内視鏡検査を予約した池田57CRAZYです。受診券、保険証、あとは同意書の提出ですね。



2 検査前に問診と血圧を測りますね。不安なことがあれば何でもお尋ねください。



3 胃の中の泡を取り除き、観察の精度を高めるために、少量の消泡液を飲んでいただきます。



4 鼻から内視鏡を入れるので、局所麻酔をします。麻酔薬のついたチューブを挿入します。痛くないから大丈夫ですよ！

胃内視鏡検査の  
所要時間は約5~7分

※病院により検査は経鼻と経口のいずれかになります。  
※市の検診では、のど/鼻腔への局所麻酔のみ行います。  
※眠たくなる注射(鎮静薬)/局所麻酔以外の痛み止め(鎮痛薬)は使用しません。